アジア太平洋防災閣僚級会議仙台開催 1 年前シンポジウムで基調講演を行いました

（2026/11/7）

テーマ：アジア太平洋防災閣僚級会議、APMCDRR、仙台防災枠組
会　場：仙台市中小企業活性化センター 多目的ホール
URL：https://www.city.sendai.jp/apmcdrr/apmcdrrsendai/1year.html（仙台市 HP）

2026 年 11 月 7 日（土）、仙台市中小企業活性化センター多目的ホールにて、「アジア太平洋防災閣僚級会議仙台開催 1 年前シンポジウム」が開催されました。本シンポジウムは、2027 年 10 月 25 日から 27 日にかけて開催されるアジア太平洋防災閣僚級会議（APMCDRR：Asia-Pacific Ministerial Conference on Disaster Risk Reduction）の開催地である仙台市が主催したもので、当日は約 200 名が参加しました。

当研究所所長の越村俊一教授が基調講演を行い、東北大学発のスタートアップ企業である株式会社 RTi-cast が展開している、世界初のリアルタイム津波浸水・被害予測システム「TsunamiCast」を実例として、防災技術を産業として国内外の社会へ実装していくことの重要性を強調しました。さらに、アジア太平洋防災閣僚級会議（APMCDRR）の関連事業として、産官学民に金融セクターも加えた新たな防災プラットフォームを実現する構想を打ち出しました。本構想は、当研究所が国立研究開発法人防災科学技術研究所（防災科研）や国へ働きかけを行い、会議参加国の政府関係者と国内企業および研究者をマッチングさせることで、日本の防災技術の展開を目指すものです。



越村所長による基調講演のようす

文責：中野 夏海（広報室）